

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関するG20 農業大臣声明

仮訳

我々、G20 農業大臣は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大によって引き起こされている壊滅的な人命の損失及び苦悩に深い悲しみを覚える。我々は、世界の食料安全保障及び栄養を守るために緊密に協力し、具体的な行動をとることにコミットする。

我々は、2020年3月26日のCOVID-19に関する首脳声明に沿って、食料、製品及び農業・食料生産に不可欠な資材の国境を越える流れが継続することを確保するよう取り組むことの重要性を再確認する。我々は、フード・サプライチェーンの機能を維持しつつ、COVID-19のリスクを最小化するという課題を認識する。我々は、農業及びフード・サプライチェーン全体における従事者の健康、安全、福祉及び移動の確保に引き続き取り組んでいく。

我々は、国際市場における食料価格の過剰な乱高下につながり、世界人口の大部分、特に食料安全保障が低い環境で生活している最も脆弱な人々の食料安全保障と栄養を脅かしかねない、いかなる不当な制限的措置も行われぬよう注意する。我々は、COVID-19のパンデミックに伴う緊急措置は、的を絞りと、目的に照らし相応かつ透明性があり、一時的なものでなければならず、貿易に対する不必要な障壁又はグローバル・フード・サプライチェーンへの混乱を生じさせず、また、世界貿易機関（WTO）のルールと整合的であるべきであることに合意する。我々は、透明性の重要性を認識するとともに、農業及び不可欠な食料に関連するものも含む、講じられたいかなる貿易関連措置もWTOに通報するという、貿易・投資担当大臣によるコミットメントを称賛する。我々は、世界食糧計画（WFP）及びその他の人道機関が非商業的人道目的のために購入する食料及び農産品について、輸出規制や過剰な税を課さないとの合意を再確認する。

我々は、G20の農業市場情報システム（AMIS）の作業を強調し、現在世界には十分な食料供給があり、食料市場はバランスがとれているとの評価に留意する。メンバーとして、我々は、市場、政府及び消費者が十分な情報の元に判断できるよう、世界の食料市場のファンダメンタルズに関する適時かつ信頼性の高い情報を提供し続

けることにコミットし、他のメンバーにも呼び掛ける。我々は、適切な場合には、AMIS 情報グループ会合及び AMIS 迅速対応フォーラムの支持を得つつ、政策対応の調整を行う。我々は、自発的な財政貢献を含む、AMIS への支援の継続を求める。

我々は、十分に安全で安価かつ栄養のある食料が、各国の必要に沿い、適時に安全にかつ計画的に、最も貧しく脆弱な人々や避難民を含む全ての人々にとって、入手可能であり、アクセス可能であり続けることの確保に資するよう協働する。我々は、フードシステムにおける民間部門の重要な役割を認識し、パンデミックが農業及び食料部門に与える影響に対して、迅速かつ革新的な対応を動員できるよう、官民間の協力の強化を求める。

現在の困難な状況下で、フード・サプライチェーンの混乱に起因する食料の損失・廃棄は、食料不安及び栄養上のリスクと経済的損失を悪化させかねないことから、我々はこれを回避することの重要性を強調する。我々は、病害虫の流行による将来のショックやこれらショックをもたらさうる地球規模の課題に対することも含め、フードシステムの持続可能性と強靱性を世界的に強化することの必要性を強調する。我々は、ワンヘルスアプローチに沿って、人獣共通感染症の監視、早期警戒、備え、予防、発見、対応及び制御のためのメカニズムを強化すること、並びに人獣共通感染症の管理のためのより厳格な安全性と衛生管理の国際的なガイドラインを科学的根拠に基づき策定することを求める。

我々は、農業者・農業労働者及び中小・大規模の農業・食品事業者が食料供給を確保するための取組を継続していることに深く感謝する。我々は、WTO ルールや持続可能な開発のための 2030 アジェンダに沿って、危機における彼らの活動や生計を維持し、その後の回復を支援するための我々の取組を強化する。これにより、開発途上国や低所得国のニーズに特に注意を払いつつ、農村コミュニティ、特に小規模農家・家族農業がより経済的に豊かで強靱かつ持続可能となり、食料安全保障と栄養の改善を享受できるよう支援していく。

我々は、引き続き関連する国際機関と協力し、彼らのマンデートの範囲内で、①国際協力の強化、②食料安全保障及び栄養への COVID-19 の影響を軽減するための追加的な行動の特定、③サプライチェーンへの障壁への対処等の優良事例及び教訓の

共有、④証拠及び科学的根拠に基づく情報の促進と誤情報への対処、⑤能力構築と技術的支援の提供、⑥農業及びフードシステムの持続可能性と強靱性を改善する、研究、責任ある投資、イノベーション及び改革の促進、のための作業を進める。この作業は、国連食糧農業機関（FAO）により展開されつつある COVID-19 への対応や、国際農業開発基金（IFAD）により展開されつつある COVID-19 の影響からの力強い回復を支援する取組、OECD による政策評価及び分析、さらには 2021 年国連食料システムサミットのための準備等その他の関連イニシアティブを基礎とし得る。

我々は、引き続き緊密に協力し、必要に応じて COVID-19 のパンデミックへの対応やより広範な G20 農業及び食料の議題を更新する。我々は、必要に応じ、再び会合する用意がある。